

**平成25年度**

# **多可町教育方針 及び 主要施策**

**多可町教育委員会**

今日、わが国では、少子高齢化や核家族化、情報化、価値観の多様化が急速に進行するとともに、長引く景気の低迷による経済情勢の悪化など、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、社会の変化に対応し、たくましく生き、新しい時代を切り開いていくためには、柔軟な思考力や他者との関係を築く力、知識や技能を活用して課題を解決する力などが求められています。

多可町教育委員会では、多可町総合計画をもとに、「明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり」を基本目標とし、「ふるさと多可町を愛し、自らの夢や目標に向かってたくましく生きる、こころ豊かな子どもの育成」を目指す「多可町教育ビジョン」を着実に実行していきます。

いつの時代でもまちづくりの基礎は、人づくりにあります。幼児期から高齢期までそれぞれのライフステージに沿い、学習の機会と場所の充実を図り、生涯にわたり、学び続けることができる学習環境づくりを進めていきます。「多可町で子育てをして良かった」、「多可町で学んで良かった」、そして「多可町に住んで良かった」と実感していただけるまちづくりをめざして取り組んでいきます。

また、いじめや体罰による生徒の自殺が大きな社会問題になっています。私たち一人一人があらためてこの問題の重大性を十分認識し、いじめや体罰の根絶に向け、社会あげて取り組んでいかなければなりません。

「教育は人なり」といわれるように、教職員一人一人の資質・指導力及び学校園の組織力の向上が欠かせません。そのために、日々子どもと向き合い、直接教育活動を行っている学校園の取組を支援するとともに、適切な指導、助言を行っていきます。そして保護者や地域から信頼される開かれた学校園づくりを推進していきます。

平成25年度の重点目標と主要施策は、次のとおりです。

# 1 重点目標

## (1) 幼児教育・学校教育

### ① 生きる力の基礎を育む幼児教育の充実

- 一人一人の興味や関心に基づいた直接的な体験を通して、豊かな心情や自ら取り組もうとする意欲、基本的な生活習慣、社会性などの「生きる力の基礎」を育む幼稚園・保育園づくり
- 発達や学びの連続性をふまえ、一人一人の子どもの特性に応じた幼児教育の推進

### ② 夢や目標を持ち、たくましく生きる子どもの育成

- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」を育み、夢や目標を持った、たくましく生きる子どもの育成
- ふるさと多可町に愛着と誇りを持ち、多可町を愛する子どもの育成

### ③ 個々の指導力や組織力の向上に努める教職員の育成

- 確かな力量と豊かな人間性を備え、使命感をもって子どもを導くことができる教職員の育成
- チーム力を発揮し、各学校園が抱える課題にチャレンジする教職員の育成

### ④ 信頼される学校園づくりの推進

- 子どもたちが喜んで通う、いじめを許さない、一人一人の良さを伸ばす学校づくり
- 様々な自然災害に備えた学校防災体制や不審者等に対する学校の危機管理体制を確立し、子どもたちが安心して学べる学習環境づくり
- 教育方針や子どもの活動状況等を地域へ積極的に情報発信する学校園づくり
- 保護者や地域の思いや願いを把握し、それを学校園経営に生かす学校園づくり

### ⑤ 学校園施設・設備の充実

- 子どもたちが安全で安心な学校生活を送ることができるよう、学校園施設・設備の整備

## (2) 家庭教育・社会教育

### ① 家庭や地域の教育力の向上

- 「教育の原点は、家庭教育である」との認識に立ち、学校園、PTAと連携して、家庭への情報提供、意識啓発、体験の機会の提供などによる家庭の教育力の向上
- PTAや地域の指導者、関係団体等との連携を強化し、取組の支援や活動の場の設定などによる地域の教育力の向上
- 子どもたちが安心して、安全に過ごせる地域の環境づくりの推進

### ② 学童保育や児童館事業等の充実

- 学童保育や児童館事業等の充実を図り、児童の健康管理や安全確保のもと、群れ遊び等を通して、こころ豊かなたくましい子どもの育成

### ③ 教育・文化施設の充実

- 図書館、那珂ふれあい館、公民館施設の特色をいかした事業の展開と情報発信の充実

## 2 主要施策

### ハード面

#### 1 学校園施設の整備改修

- 杉原谷小学校体育館の耐震補強・大規模改造工事を行います。
- 松井小学校の校舎大規模改造工事の実施設計を行います。
- 中町中学校南校舎の屋上防水・漏水補修工事及び、北校舎インターホン設置工事を行います。
- キッズランドやちよ廊下屋根改修工事を行います。

#### 2 学童保育施設の整備改修

- 中北学童保育施設・中南学童保育施設の移転改修工事を行います。
- 杉っ子会館の外壁塗装工事を行います。

#### 3 その他関連施設の整備改修

- 那珂ふれあい館の西側護岸修繕工事を行います。

### ソフト面

## ◎ 幼児教育・学校教育

#### 1 生きる力の基礎を育む幼児教育の充実

- 幼児教育の質の向上に向け、教育内容の整合性を図った新しい幼稚園教育要領と保育所保育指針を幼稚園・保育園で実施し、子どもの発達や学びの連続性を踏まえ、幼稚園と保育園の連携を一層強化します。
- 多可町の豊かな自然にふれ、ひとり、その中で主体的に遊ばせる活動を積極的に取り入れていきます。
- 集団生活を通して、友だちを思いやる心や友だちと協力すること、話を集中して聞けることなどの社会性が身につくよう取り組みます。
- 家庭と協力し、「あいさつ」「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身につくよう取り組みます。

#### 2 幼保小中学校の連携の強化

- 0歳～15歳までの子どもの発達の連続性に留意しながら、保育所・幼稚園から小学校への滑らかな移行、小学校から中学校への円滑な接続など、幼保小中を通した一貫性のある教育計画や教育活動の工夫・改善を図ります。
- 小1プロブレムや中1ギャップの解消に向け、5歳児登下校体験や体験入学、共同学習、出前授業など、幼児児童生徒の積極的な交流活動に努めます。

### 3 確かな学力の育成

- 新学習指導要領の趣旨や内容を十分理解し、適正な教育課程を編成します。特に、すべての教科において「言語活動の充実」に向け、実践事例集等を活用し、学習指導の工夫改善を行います。
- 少人数授業や小学校高学年の「兵庫型教科担任制」等の「新学習システム」を推進します。
- 基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得と、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を伸ばす魅力ある授業づくりを進めます。
- 反復練習による読み・書き・計算力を高めるために、学習タイムやモジュール学習を推進します。
- 「多可町子ども読書活動推進計画」に沿って、子どもの読書活動を推進します。
- スクールアシスタント、生活補助員等を配置し、個に応じたきめ細かな指導を展開します。
- 全国学力・学習状況調査や標準学力検査(CRT・NRT)を実施し、結果を様々な角度から考察・検討し、学力の把握と授業の改善に努めます。
- 外国語指導助手(ALT)を町内の各中学校に継続して配置し、中学校の英語教育や小学校の外国語活動の充実を図ります。
- 書画カメラ(実物投影機)やプロジェクター、デジタルカメラなどのICT機器を効果的に活用し、指導方法の工夫・改善を図ります。

### 4 豊かな心の育成

- 生命や人権を尊重し、他者を思いやる豊かな人間性を育成するために、道徳教育や人権教育を道徳の時間を主として、全教育活動の中で推進します。
- 人間的なふれあいに基づく指導を通して、基本的な生活習慣、規範意識をはじめ、あいさつや社会生活上のルールなどの定着化を図ります。
- いじめや暴力行為、不登校、児童虐待等については、学校、家庭、関係機関が連携を密にし、未然防止、早期発見、早期対応に努めます。
- 震災の教訓を生かし、地震や風水害から自らの命を守るために、必要な能力や態度を身につけるための防災教育を通じて、共生の精神や命の大切さ、人間としてのあり方生き方を考える教育を推進します。
- 乳幼児や妊婦とのふれあい体験を通して、「命の大切さ」を実感させる教育を推進します。
- スクールカウンセラーや家庭相談員の配置や町の適応教室の充実、兵庫教育大学や県立但馬やまびこの郷等の関係機関との連携を深め、不登校生の学校復帰を支援します。
- インターネットや携帯電話を使った誹謗中傷やいじめ、ネット犯罪や有害情報等から子どもたちを守る情報モラル教育を充実させます。

## 5 健やかな体の育成

- 「学校における食育実践プログラム」の活用を推進し、食育・健康教育の取組をすべての学校園で取り入れ、子どもたちの生活習慣や基礎体力の向上を図ります。
- 新給食センターにおいて、安全・安心で栄養のバランスのとれた学校給食の提供に努めていきます。米飯については、多可町産を利用するとともに、野菜等についても地元産の利用を一層進めていきます。給食展を開催し、学校や家庭、地域と連携して食育の推進に取り組みます。
- 食物アレルギーの子どもたちには、アレルギーに対応した学校給食を提供します。
- 体力テストの結果、小・中学生とも敏捷性、持久力は優れていますが、柔軟性や投能力、跳躍力に課題が見られます。これらを改善するため、体育の授業や特別活動の取組に、柔軟性や瞬発力、跳躍力を向上させるプログラムを取り入れ、楽しく運動できるよう工夫します。
- 武道の必修化により、中学校で始まった剣道の授業をより充実させるために、各中学校へ年間10時間程度、剣道の指導員を派遣します。

## 6 特別支援教育の推進

- 各学校園において特別支援教育コーディネーターを中心に、「個別の指導計画」を立て、一人一人の教育的ニーズに応える教育を推進します。
- 北はりま特別支援学校と連携して、共同学習や交流学习を推進していきます。
- 特別に支援を要する児童生徒に対しては、生活補助員を配置し、個々の教育的ニーズに応じて生活や学習活動を支援します。
- ライフステージに応じた継続的な支援を行うため、「サポートファイル」を作成し、活用を推進します。

## 7 開かれた学校園づくりの推進

- オープンスクールでの公開や学校広報誌、ホームページ等を通じて学校園の情報提供を推進します。IT支援員を派遣し、各学校園の情報教育やホームページの更新を支援します。
- 学校関係者評価を活用して学校改善に取り組みます。また、評価結果を公表し、開かれた学校づくりを推進します。
- 学校支援地域本部事業を推進し、地域住民が学校園の教育活動を支援する体制を構築し、開かれた学校づくりを進めていきます。

## 8 伝統や文化、環境をいかした体験活動の充実

- 小学3年生の環境体験学習事業、4年生の多可っ子芸術文化体験事業、5年生の自然学校推進事業、中学2年生のトライやる・ウィーク事業等の体験学習を充実させ、ふるさと多可町を愛し、こころ豊かにたくましく生きる子どもを育成します。
- 子ども芸能祭を開催し、町内の文化・芸能活動に取り組む子どもたちの活動を発表します。

- 新しく作成した、ふるさと教育副読本「わたしたちのふるさと多可町」を使って、ふるさと多可町を愛する心を育みます。また、杉原紙、播州歌舞伎、敬老の日提唱のまちなど地域の伝統や文化をいかした独自の体験活動を行い、特色ある学校園づくりを進めます。
- 中学生によるスクラムハートプロジェクト(中学生と消防団の地域交流)を通して、地元の人々との顔見知りづくりを進め、防災意識を高めるとともに、地域への愛着や所属意識を高めます。
- 中学生の地域での活躍の場を設定し、ボランティア活動を通して様々な人と関わり、地域の一員としての自覚と自己有用感を高め、社会貢献意識や連帯意識等を醸成します。
- アメリカ合衆国ミドルタウンとの国際教育交流については、ミドルタウンの意向により、引き続き実施することは難しい状況です。新たな交流先について、国際教育交流推進協議会で検討しています。また中国三水区華僑中学との交流は、当分の間、休止とします。

## 9 教職員の資質・指導力及び学校園の組織力の向上

- 若手教職員の実践的指導力や管理職の学校経営力の向上を図る研修を充実させます。また各学校園の校内研修の充実を支援し、教職員の指導力向上を図ります。
- 勤務時間の適正化に向けた、「ノー残業デー」「ノー会議デー」「ノー部活デー」の取組を推進します。
- 体罰に頼らない指導を徹底するとともに、体罰を許さない学校づくりを推進します。
- 校園長のリーダーシップのもと、教職員がチーム力を発揮して学校園の課題解決に積極的にチャレンジする学校園づくりを推進します。
- 幼児教育において、本町の豊かな自然を生かした「自然体験研修事業」を今年も継続し、めざす子ども像の実現に努めていきます。
- 県立教育研修所や兵庫教育大学と連携して、学力向上や不登校対策の研究に取り組みます。
- 人事評価・育成システムや学校関係者評価を積極的に活用した人材育成に取り組みます。

## 10 学校園の防災体制及び危機管理体制の充実

- 子どもたちの安全を確保するために、様々な災害に備えて、定期的に避難訓練を実施し、災害対応マニュアルを不断に見直します。また、災害時の役割分担について町の生活安全課との連携を一層強化します。
- 校園長のリーダーシップのもと、危機発生時の対処方法等について定期的に研修、訓練を実施し、職員の危機対応に関する知識・技能の向上を図ります。

## **◎ 家庭教育・社会教育**

### 1 家庭や地域の教育力の向上

- 教育通信誌「多可子どもタイムズ」を発行し、地域住民に、多可町の取組や各学校園の現状などについて情報提供し、家庭や地域の教育力の向上に繋げていきます。

- 父親の子育て参加や家族のコミュニケーション促進に繋がるPTAの子育て研修などを支援します。
- 毎月の第3日曜日を「家庭の日」として、家族参加型のイベントの充実や、「ノーテレビ・ノーゲームデー」等の推進を図ります。
- 基本的な生活習慣や情報モラル、しつけなどを盛り込んだ「家庭学習の手引き」を作成し、それを活用して子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の確立を支援します。
- 関係機関や関係各課と連携して、児童虐待防止に向けた個別ケース会議を実施するとともに、リーフレットや対応マニュアルを活用して、虐待の早期発見、迅速対応への啓発に努めます。

## 2 安全で安心な環境づくりの推進

- 子どもたちの安心安全を確保するために、地域の協力を得ながら、町内の学校園・保育所等の施設内や周辺及び、下校時の通学路、各公園施設の巡回パトロールを行ないます。
- 青少年の非行防止及び、早期発見のために、定期補導や特別補導、量販店補導などの補導活動を実施します。
- 放課後の小学校の運動場等を利用し、地域住民の見守りのもとで、子どもたちの安全で安心な群れ遊びの場を提供する「放課後子どもプラン事業」を継続して推進します。
- 「多可っ子子育てサポートメール」の運用を通じて、保護者にとって必要な情報をタイムリーに配信します。

## 3 学童保育や児童館事業等の充実

- 学童保育や児童館事業を継続し、放課後の安全で健やかな活動場所を確保し、群れ遊び等を通じて子どもたちの健全な育成に努めます。
- 遊びの環境づくりなど保育の質を高めるために、子どもたちの健康管理や安全の確保等について、指導員の研修を実施します。

## 4 生涯学習の拠点としての図書館の充実

- 図書館は、生涯学習の拠点として、図書資料を通じた情報提供を進めます。暮らしに役立つ図書館をめざし、小説をはじめ実用書や児童書の充実を図っていきます。
- 「多可町子ども読書活動推進計画」に沿って、学校園等への団体貸出の充実を図っていきます。

## 5 地域の歴史学習の拠点としての那珂ふれあい館の充実

- 那珂ふれあい館は、地域の歴史学習の拠点として、積極的に情報発信を進めます。体験イベントは、「歴史・伝統文化」に重点をおいて実施します。特に、児童生徒がふるさと多可町の歴史に愛着をもてるように、多可町歴史遺産ツアーや学校園への出前講座を実施します。
- 文化財保護行政においては、文化財発掘調査、彫像・石造物調査や年中行事調査の悉皆調査を実施し、町内の文化財を周知するとともに、それらの保護及び活用を図っていきます。

## **◎ 教育委員会事務局**

### **1 就学前教育・保育基本計画の策定**

○引き続き、多可町就学前教育・保育基本計画策定委員会において、多可町就学前教育・保育に関する基本計画（素案）を検討し、基本計画を策定します。

### **2 教育委員会事業の点検・評価・公表の実施**

○教育委員会の権限に属するすべての事務事業の管理及び執行状況の点検と評価を行い、その結果を公表します。

### **3 教育委員会の充実**

○開かれた教育委員会をめざして、内容を充実し、公開とします。ただし、個人情報に関する案件は、非公開とします。

### **4 学校規模、教育環境のあり方の検討**

○引き続き、各区の「地域の学校教育のあり方を考える会」において、子どもたちのためにどうすることが一番よいのかを検討し、今年9月を目途に意見書を提出していただく予定です。

### **5 保護者、児童・生徒、教職員を日常的に支援する体制づくりの推進**

○教育相談室を充実させ、子ども相談（電話等）を実施します。  
○学校園アドバイザーを配置し、授業づくり・学級経営・生徒指導などの面で学校園を支援します。